

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

人文

人文

會計

會社

寫送先

昭和6一〇〇六八 暗

香港 本省

二十七日 七月二十七日 后發 后着

亞、通

幣原外務大臣

吉田總領事代理

第六一號

廿七日當地「サウス、チャイナ、モーニング、ポスト」ハ大要左ノ
論說ヲ掲ケタリ

(一) 日清役後日本ハ中國ヲ何等ノ脅威ト感セス最近中國ハ「ボイコット」ヲ以テ日本ヲ脅カシ來リシモ日本カ中國市場ノ大部分ヲ掌握シ
中國資本案モ一般消費者モ日本品ニ依ル事多大ナル今日「ボイコット」ナル武器モ威力ヲ失ヘリ今次ノ上海「ボイコット」モ外面強硬ナルカ如ク見ユルモ實ハ著シク人工的ナリ

外務省

(二) 蔣介石ハ廣東ニ對シテ和平ノ上共同シテ外敵日本ニ當ラント申出テタリトノ說アルモ假ニ現在ノ中國カ一致スルモ日本トノ戰ハ一大

困難ナルハ勿論ニテ之ハ蔣ノ廣東ニ對スル嫌カラセニ過キス蔣ハ廣東ノ日本側トノ近頃ノ交歡並ニ「ボイコット」防遏ニ依ル兩者ノ友好關係ヲ喜フヘキ筈ナリ尤モ日本ノ過去ノ態度ハ中國ニ内亂アル度毎ニ双方ニ武器ヲ供給スル等内争助勢ノ嫌アリシモ奉天南京ノ結合セル今日ハ斯カル事無カルヘシ併シ或ル一國カ中國ノ或ル一派ヲ援助シタリトセハ其ハ一般ノ非難ニ値ス

(三) 近來殊ニ上海及天津ニ於テ滿洲問題喧シキ處私見トシテ本問題ニ關シ日本ノ責任ハ増大シツ、アリ日本ハ滿洲ニ於テ何等領土の野心ナカルヘキモ殊更ニ事端ヲ繁クシ隱忍自重ト稱シテ事態ノ釀成ヲ待

外務省

S 1.1.1.0 - 17

1366

0002

S 1.1.1.0 - 17

1365

0001 (記)

ツテ中國ノ主張ヲ甚タシク侵ス事ナクシテ而モ日本ノ經濟的地位ヲ
増進スルカ如キ要求ヲ爲スモノト非難セラレ居レリ若シ是果シテ日
本ノ政策ナランニハ過去ノ中日紛争ニ於テハ多クノ場合中國側ハ常
ニ被害者ノ立場ニアリ此等ニ就キ日本側ハ殆ント要求ノ根據ナキ事
實ニ依リテ此ノ政策ヲ防キ得ヘシ中國ハ民衆ノ満足スル政府確立ス
ル迄ハ干涉ニ没頭スル他國ノ犠牲タルヘキ事ハ日ト共ニ明カトナレ
リ

支ヨリ上海、南京へ、北平ヨリ天津、青島へ轉報アリタシ
支、北平、奉天へ轉電シ廣東へ暗送セリ

外
務
省

18 1.1.1.0 - 17

1367

0003

亞細亞局
機密送第五五八號

昭和六年七月二十七日

在南京

領事 上村 伸



昭和六年八月八日 接

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

東亞日報記者被害事件ニ關スル件

七月二十三日中央日報ハ本件ニ關シ吉林特別通信トシテ大要左ノ如キ捏造記事ヲ掲載シ居レリ
萬寶山事件發生以來中國側ノ鮮人壓迫ヲ誇大ニ報道シ遂ニ鮮人ノ排華暴動事件ヲ惹起スルニ至リタル東亞日報吉林特派員金利三(早稻)

(分類A.1.1.0.20-3.)

字
100

田大學卒業ノ朝鮮人ハ事件ノ重大化ニ關シ深ク自責ノ念ニ馳ラレ

吉林ニ來リテ連日中國新聞ニ釋明謝罪文ヲ發表シ居タル處金ノ行爲

ハ變節ノ甚シキモノナリトシテ日本領事ノ忌避ニ遭ヒ遂ニ東亞旅館

ニ於テ殺害セララルニ至レリ

中國警察カ犯人ヲ逮捕シ取調ヘタル結果右ハ朴昌廈ト稱スル吉林日

本領事館巡捕ナル事判明シタルカ日本領事ハ外交部吉林辦事處施主

任ニ對シ該犯人ノ引渡シヲ要求シタルモ中國側ハ之ヲ承認セス本件

ハ目下交渉中ナリ云々

右何等御參考迄報告ス

本信寫送付先

公使 上海 北平 奉天 吉林 長春

S 1.1.1.0 - 17 1369

0005

S 1.1.1.0 - 17

1368

0004

REEL No. A-0064

0005

アジア歴史資料センター

75

分類 A.1.1.0.20-3

二四〇

昭和六年七月二十七日

在牛莊

領事 荒川 亮



外務大臣 岡野 啓 原 喜 重 郎 敬

吉林商會ノ方宝山問題檄文郵送ニ關スル件

當地商會ニ於テハ本月十二日吉林商會ヨリ左記要旨ノ檄文郵送ヲ受ケタリト謂フ右御參考ニ送部
出ス

記

各省市党部各団体御中

在牛莊日本領事館

長春縣管内方宝山屯馬家嘴口地方居住朝鮮人ハ日人ト結託シ暴カツテ水溝ヲ掘鑿シ廣大ナル
美田ヲ無價値ニ等レキモノトセシメタリ該縣長ニ於テハ
斂、家官ヲ疎遣シ其ノ暴行ヲ彈圧セムトシタル
トテ制止ニ服セス日本領事館ハ竟ニ斂、家官ヲ
疎遣シ理由ナキ干渉シテ公然曲事ヲ保護ス
ルニ多ク交渉回シ重ヌルニ日本側ハ詞ヲ交渉決
列ニテ精リ復々應接斂、家官ヲ疎遣シ鮮農
ノ水溝掘鑿ヲ保護シ我方ノ田地耕作物ヲ荒
レシテ侵畧ヲ回リ更ニ斂、家官ヲ増殖シ示威ヲ
為シ非理ニテ事實ヲ捏造シ或多ク強暴ヲ肆
コセントス我國民豈忍フヘケンヤ吉林省党務指
導委員ニ於テハ既ニ電報ヲ以テ五項ヲ掲ケ斂

昭和六年八月參日

S 1.1.1.0 - 17 1371

S 1.1.1.0 - 17 1370

0006

重交渉方ヲ要求ニタルハ誠ニ當ヲ得タルモノナリ
高全國同胞一致團結目的ノ達成ニ努ムルヲ
後強權ヲ用ヒテ以テ公理ノ伸長ヲ計ラレム事
ヲ望ム

吉林省高印

寫送付先 奉天、吉林、長春

在牛莊日本領事館

18 1.1.1.0-17 1372

0007

REEL No. A-0064

アジア歴史資料センター

亞細亞局
關機高支第八二九六號ノ二

昭和六年七月二十七日

關 東 廳 警 務 局 長



昭和六年七月二十七日

0008

拓務局長	內務局長	外務局長	陸軍大臣	海軍大臣	關東軍司令官	滿鐵總務長
次官	次官	次官	參謀長	參謀長	參謀長	課長
股長	股長	股長	股長	股長	股長	股長

朝鮮事件宣傳文ノ郵送

今回朝鮮ニ於ケル排華事件ニ依リ在留中國人ノ歸國シタル者ノ大部分

S 1.1.1.0-17 1373

ハ殆ト芝罘ニ集中シ過般同地ニ於テ市民大會ヲ開催シ排日大示威遊行ヲ試ミタル上中國全國ニ檄文ヲ飛ハシ大ニ氣勢ヲ煽リタル由ニ付注意中二十日大連華商公議會宛芝罘郵便局ノ消印アルモノ左記譯文ノ如キ

「慘殺事件經過實情」ト題スル檄文ヲ郵送シ來レルカ公議會ニ於テハ一般會員ニ公表セス燒却セリ

「譯文」

慘殺事件經過實情

世風尙野蠻ニシテ凶禍頻發シ民國十六年朝鮮居留同胞ノ會テ鮮人ノ殘暴ニ遭遇シタルコトアルモ其ノ後ハ東洋ノ文明國タル關係上第二ノ殘暴發生スヘントハ全ク豫想ヲ爲ササリシ次第ナルカ豈計ラシヤ七月三日又復前回ニ百倍セル事件先ツ仁川邊偶ノ他ニ發生シタリ時間ハ午前

三時ニシテ鮮人群衆一、二千人ハ各々殺人ノ利器ヲ携ヘ居タルカ、其

S 1.1.1.0-17

1374

0009

3

ノ棍棒ノ如キハ最モ輕キモノニシテ事前ニ石塊數車ヲ各處ニ散布シ豫
 メ用意シ其ノ他種々準備ヲ施シ置キ恰モ當局ニ於テ之レヲ許可シ平氣
 ニ我カ中國人ヲ死地ニ陥レント欲シタルモノノ如シ然ルニ該時刻ニハ
 我居留同胞ハ熟睡シ朦朧タル際人聲鼎ノ沸クカ如ク勢ヒ山ノ崩ルルカ
 如キ有様ニ驚愕一方ナラス逃ケントスルモ逃クルコト能ハス其ノ叫フ
 慘聲實ニ聞クニ忍ビサルモノアリ狼虎ニ非スシテハ決シテ斯カルコト
 ヲ爲ササルヘシ赤手逃走シ大半ハ死亡セリ群衆ハ鮮奴ノ包圍ニヨリ狼
 狽シ實ニ東西ヲモ識ラサル有様ニテ有史以來未ダ曾テ斯カル慘情ヲ見
 タルコトナシ五三慘案ハ之レニ比較シ尙輕シト云フヘシ仁人君子モ
 此ノ消息ヲ耳ニスルニ於テハ永遠ニ斯カル慘情ヲ忘ルルコト難ク立志
 辱辱ヲナスコトヲ後世ニ傳フヘシ三時ヨリ發生シ拂曉ニ至ル迄ニ我同
 胞ノ殺害セラレタルモノ十餘名アルモ其ノ死体ハ皆埋没セラレ重傷

S 1.1.1.0 - 17

1375

0010

4

者三十餘人アリ殊ニ其ノ死者ノ慘狀ハ實ニ人ヲシテ見ルニ忍ビサルモ
 ノアリ以上ハ皆野菜畑、飲食店及小飲食等合計百餘戸ニシテ門戸窓等
 悉ク彼等ノ爲メニ破壊セラレ財物ハ悉ク掠奪セラレ數多ノ家屋ヲ全部
 焼打セラレ損害ノ大ナルコト實ニ古今未曾有ト云フヘク半絲半縷モ存
 在セルモノナシ當時警察ハ之レヲ知りタル筈ナリ然ルニ遭難者ノ云フ
 處ニ依レハ斯ル横暴ナル行爲ヲ視ルモ行路者ニ對スルカ如ク不關与ノ
 態度ニテ之レヲ制止スルコトナシ情況ヨリ察スルニ早クヨリ我同胞ヲ
 暴力ニヨリ驅逐セントスル計畫的ノ行爲ナルヘク其ノ主謀者ハ之レヲ
 語ラスモ推察スルニ難カラス其ノ行動セル横暴ナル行爲ハ實ニ人ヲシ
 テ戰慄セシムルモノアリト雖モ其ノ主謀者ノ陰險實ニ彼ノ兇行者ニ百
 倍セリト云フヘシ殺人ノ行ハレタル後ニ於テ始メテ警察ハ稍眞面目ト
 ナリ保護ヲ加フルニ至レルカ死傷者ヲ出シタル後ニシテ時已ニ晚ク縱

S 1.1.1.0 - 17

1376

0011

ニ生命ニ残害ヲ加ヘタルハ實ニ人類ニ非サル狼虎ヨリ甚タシキモノアリ三日ノ朝ニ至リ警察ノ保護ヲ加ヘタル遭難者負傷者ハ一千餘人ニ及ヒ自動車ハ全部支那町ノ總商會内ニ收容セラレ始メテ生命ノ安固ヲ得タル次第ナリ

四月午前一時鮮奴數千人ハ又蜂ノ湧クカ如ク支那町ニ向ヒ襲撃シタルモ吾カ中國街ハ萬衆共力一致シテ之レニ對抗シ各街ノ入口ニ武衛(團員及勞働者等ニヨリ嚴重ニ守備シ商店モ門戸ヲ開キ自衛シ聲援ニ力メタルカ數回進撃セントシタルモ皆之レヲ果サス支那街ニ攻入ル能ハサル不滿ニヨリ歸途三里塞ニ至リ我カ華商三十餘ニ對シ其ノ堅固ナル門戸ヲ破壊シ馬車ヲ以テ凡テノ財貨ヲ掠奪シタルモ幸ニシテ居留民同胞ハ一人モ殺傷セラレタルモノナシ蓋シ同日晝ヨリ形勢ノ不穩ナルニ鑑ミ財産ヲ放棄シ門窓ヲ釘付ケトナシ支那街ニ遁レタル次第ナルカ然ラ

サレハ斯カル慘劇タル流血ヲ見ルコト遁レサリシ處ナリ此ノ際總商會及領事館内ニ收容セル難民二千餘人アリ事態擴大セラレ風聲益々險惡トナレリ

S 1.1.1.0-17

1378

0013

S 1.1.1.0-17

1377

0012

五日ニ鮮奴ハ夜間ニ必ス死力ヲ費シテ支那街ヲ襲撃シ且ツ石油ヲ掛ケテ焼打ヲナスヘントノ消息ヲ聞キ我方ノ自衛力ハ愈々堅固トナリ一面ニハ京城ナル我總領事館ヨリ總督府ニ出兵保護方ヲ電請シタルカ幸ニ武装ノ警察官五十名馬隊十騎ヲ我方ノ自衛團ニ附ケ嚴重警戒セラルルニ至リ始メテ危險ノ境ヲ脱スルニ至リタルカ事件發生ノ當初ニ於テ武装警察ノ保護ヲ要求シタルカ口實ヲ設ケ應セスシテ重要事件發生ノ際ハ必ス武装警察官ヲ出スヘント云ヒ後ニ殺人ヨリ事件擴大シ其禍害ノ重大トナリ且ツ放火等ノ舉動アリ且ツ共產ノ意味ヲ含マレタルニヨリ始メテ武装ヲナシ保護スルコトトナレルカ其ノ實彼等(日商)ニ被害ノ及フコトヲ恐レタルカ爲ニシテ決シテ我等ノ爲ニアラサルヘシ新カ
ル陰險性ハ各文明國ニ從來會テアリタルコトナク即チ野蠻國ニモアリタルコトヲ聞キタルコトナシ毅然トシテ之ヲ行ヒ毫モ不要ノ念ヲ抱カ

0014

1379

S 1.1.1.0 - 17

サルハ眞ニ蛇蝎モ及ハサルモノト云フヘク若シ速ニ之ヲ避クルノ法ヲ計ラサレハ終ニハ大害ヲ受クルニ至ルヘシ其ノ最モ見ルニ忍ヒサルハ殊ニ婦女子小兒ノ傷害セラレタル有様ナリ悲慘ニシテ涙下ルモノアリ其ノ朝鮮ニアリテ其ノ衝ニ當レルモノハ到底百世忘ルルコト能ハサルヘシ想フニ我國人モ此實情記載ノ表ヲ見ルニ於テハ終身忘レ難カルヘシ仁川ノ暴動ハ六日ニ至リ漸ク平靜ニ歸シ平壤ハ五日夜ニ有史以來未曾有ノ大慘事發生セリ同地ヨリ送り來レル血ト涙トヲ以テ綴ラレタル書面ヲ添附シ置キタルニヨリ閱讀アラシコトヲ請フ 諸君目ヲ閉シテ二百人ノ生命ノ殘殺セラレタル慘狀ヲ思ヘハ悲嘆ニ堪ヘサルモノアルヘシ現在平壤ニ收容セルモノ三千餘名ニシテ宿ルニ家ナク露天ニ立チテ連日大雨降り續キ氣候亦寒冷ニシテ食物モナキ有様ハ如何ニ慘ナルカ 仁川ハ七、八日頃他所ヨリ來ル者四五千人ニ達シ居レルモ幸ニ主

0015

1380

S 1.1.1.0 - 17

席及董事等ニヨリ熱心ニ食料問題等ニ就キ注意セラレタル關係ニテ人
 心稍々安堵スルニ至レリ歸國者五千餘人ニシテ日ナラスシテ全部出發
 セリ他ノ地方ニ於ケル暴動ノ情況未タ判明セサルモ元山ノ同胞十餘名
 ノ死者ヲ目シタリト云ヒ實ニ死ハ鴻毛ヨリ輕ク棄リニ人ノ屠殺ニ任ス
 ルカ如キハ實ニ忍ビサル處ナリ強國ニアラサレハ此恥辱ヲ雪クコトヲ
 得サルカ筆ヲ執ルニ臨ミ悲愴極リナン尙情報アリ次第更ニ報告スヘシ

中華民國二十年七月十三日

S 1.1.1.0 - 17

1381

0016

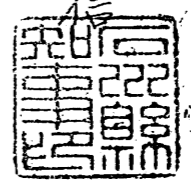




亞細亞局
發特高秘第八六八

昭和六年六月二十六日

石川縣知事田寺俊信



外務省
守島課長
昭和六年七月卅日 接受
0017

内務大臣 安達謙藏殿
外務大臣 幣原喜重郎殿
拓務大臣 原 恪次郎殿
朝鮮總督府警務部長殿
福井、富山各縣知事殿

鮮支人、融和懇談會、用催ニ関スル件
萬寶山事件ニ端ヲ發シ、官下金沢市在住朝鮮人十

数名ハ突如市内在留中華民國人理髮店ヲ襲ヒ暴行
器物毀棄等ヲシタル件ハ當時申(通)報置候処其後
西者間ハ平穩ニ叙シタルニ右事件ニ依ル西者間ノ感情
ノ悪化シ一掃シ延テ彼我國間ノ和合親睦ヲ計ラム
トスル見地ヨリ

金澤市所在
人類愛善會北陸分會

發起ノストニ去ル二十五日午後七時半ヨリ市内料亭
金谷館ニ西方代表ノ參集ヲ求メ融和懇談會ヲ用催
セルガ當日朝鮮人側ヨリ共榮會(内鮮融和団体)會長
鄭金岩外四名、中華民國人側ヨリ高元諒外五名本
席懇談會ニ入りタルガ朝鮮人側ハ過般ノ如キ暴挙

S 1.1.1.0 - 17 1383

S 1.1.1.0 - 17 1382

ハ再び繚り返すブルジョアシ中華民国側ニ於テハ本
比ノ意義アル會合ヲ本國ニ在ル同胞ニ通知シ鮮人
自ノ線和ニ奴カムマシト述ベヌ方起ラテ固ヤ握テ
シ午後九時三十分談笑裡ニ散會セリ

右又申(通)報候也
進而右懇談會ハ田中警察部長、坂田特高部長
ヲ主席セリ

S 1.1.1.0 - 17 1384

0018

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

分類 1.1.1.0-20-3

昭和6 一〇一六〇 暗

重慶 本省

七月廿八日後着

亞

幣原外務大臣

清野領事

第一一八號

成都發本官宛電報第一一八號

大臣ニ轉電アリタシ

第一一八號

萬寶山及朝鮮ニ於ケル排華暴行事件ニ關シ當地各新聞ハ數日以來一齊ニ相當過激ナル排日的記事ヲ滿載シ居レルカ廿五日四川民衆促成會ヨリ中央政府ニ對シ激勵的ノ電報ヲ發シタル外未タ外部ニ現ハレタル排日排貨的行動ヲ認メス主ナル新聞ノ論(調)ハ郵報ス

外務省

支、漢口、南京、上海へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0 - 17

1386

0020

S 1.1.1.0 - 17

1385

0019

記

第

公第六七三號

昭和六年七月二十八日

在中華民國日本公使館

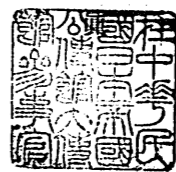
大使館參事官 矢野

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

萬寶山問題ニ關スル新聞記事報告ノ件

萬寶山事件ニ關スル本月十三日及十四日ノ京津「タイムス」紙ノ社説ハ大体穩健公平ナルモノアリヤニ思考セララルル處右原文ハ七月十四日附ヲ以テ既ニ天津發閣下宛北公第七〇二號ヲ以テ送附濟ナルモ當館ニテ作成ノ右要譯爲念送附ス
尙本記事中間題ノ事實ノ説明ノ部分ハ滿鐵ノ「キニー」カ各英字新

在中華民國日本公使館



記録付
萬寶山問題
幣原喜重郎
別紙添附
六月四日

(分類 A.1.1.0. 20-3.)

S 1.1.1.0 - 17 1387

0021

開社ニ送附シタル情報ヲ其ノ儘轉載シタルモノニシテ本月十三日ノNorth China Starモ大連通信トシテ右「キニー」情報ヲ其ノ儘轉載シ居レリ右報告申進ス

本信寫送附先 代理公使

奉 天 哈爾濱 吉林 長春

在中華民國日本公使館

S 1.1.1.0 - 17 1388

0022

記
張作相ノ談ニ依リ國民通信ノ所謂萬寶山ニ於テ支那農民及警官機關
銃ニテ鑿殺セラレタリトノ報道ノ虛報ナルコト判明セルカ抑々萬寶
山問題ハ地方的問題トシテ發生シタルモノニシテ本件ニ起因シテ朝
鮮ニ慘事發生シタリト雖依然地方問題トシテ取扱ハルヘキナリ本件
紛争ノ眞因ハ支那人關係者ト水路用地所有者トノ取極ノ不備ニ存ス
張作相ハ水路開鑿方ニ付官ヨリ許可ヲ與ヘタルコトナシト云ヘルモ
若シ然リトセハ奇怪ナル見落シト云ハサル可ラス
本春水路開鑿工事當地ハ何等ノ故障ナク工事進捗シテ後始メテ紛争
起リ爲ニ工事ハ一時中止ノ已ムナキニ至リ其後日支官憲ノ斡旋ニ依
リ再ヒ工事着手セラレタルモ復々事態ハ逆戻リトナレリ偶々大雨ノ
爲汎濫ノ惧起リ遂ニ地方農民ハ水路ヲ埋ムルニ至リタルカ斯クテハ
鮮人本年度ノ開鑿計畫ヲ全部破壊スルノ虞アリ鮮人ハ之ニ對抗シ一
方日本當局ノ援助ヲ求メ茲ニ事態ハ益々悪化セリ
問題ノ土地ハ長春ヨリ約十八哩ノ地點ニ在ル荒涼タル沼地ニシテ最

在中華民國日本公使館

S 1.1.1.0 - 17

1389

0023

近支那人數名資金ヲ持寄り右沼地五百「エーカー」ヲ鮮人ニ賃貸ス
コトヲ計畫シ其中ニハ右土地ノ所有者モ參加シ居リ右賃貸方ニ關シ
テモ通例ノ手續ニ依リ官廳ノ許可濟ナル由ナリ本賃貸契約ハ鮮支雙
方ノ満足セル所ニシテ即チ支那人ハ從來無價値ノ土地ヨリ收入ヲ得
他方朝鮮人ハ其熱望シタル稻作組合ノ實現ヲ見得ルコトトナレリ同
契約ハ書面ニ作成セラレ居リ契約期間ハ十年トシ鮮人ハ全部ノ土地
ニ對スル地代トシテ年千石ノ米ヲ支拂フヘク米一石ノ時價ヲ七圓ト
シ地代ハ實ニ七千圓ナリ
鮮人及支那人土地所有一者雙方トモ本契約書ニ署名シタルカ土地所
有者ノ一人孫ナル者ハ本計畫促進ニ骨折リタル理由ヲ以テ二千圓ノ
「コミッション」ヲ要求シ鮮人之ヲ拒絶シタルニ依リ憤慨シ契約履
行上ノ障害ヲ圖リ附近無智ナル支那人ヲ煽動シ若シ鮮農排水工事ヲ
爲スニ於テハ附近支那人田畑ハ水害ヲ免レスト流言シ又支那當局ニ
對シテハ三姓堡ノ鮮人中ニハ多クノ共產黨員アリト告ケタリ茲ニ於
テ當局ハ鮮人驅逐命令ヲ發シタルモノノ如ク支那農民亦自己ノ利益

在中華民國日本公使館

S 1.1.1.0 - 17

1390

0024

ノ侵害セラルルヲ惧レテ威嚇的態度ヲ執ルニ至レリ他方本件關係鮮農ハ無智ニテ支那人「ブローカー」カ契約ハ完全ナリト云ヘル言ヲ信シ八哩ニ亘ル水路ノ開鑿ニ着手セルモノナルカ水路通過地所有者ノ或者ハ契約書ニ署名シ居リ或者ハ然ラス而シテ本計畫ニ參加シ居ラサル支那人モ本工事ニ依リ地價騰貴スルヲ以テ之ニ參加方熱望シ居ル状態ナリ

水路工事ニ付キ支那官憲ノ許可アリタルコトナシト主張スル者アルモ其他ノ官憲ニ於テ當初ヨリ鮮人ノ工事ヲ知悉シ居タルコトハ極メテ明白ナリ本工事ノ完成ハ本年收穫ノ關係上焦眉ノ急ナルカ之ニ對スル支那側ノ反對理由及鮮人側ノ言分左ノ如シ

支那側ノ反對理由

(一) 本水路工事ハ陸路及水路ノ交通ヲ妨害ス

(二) 堰ノ上方二千「エーカー」ノ土地ハ浸水スヘシ

(三) 水田ヨリ流ルル水ノ爲數千「エーカー」ノ土地ハ氾濫ノ惧アリ鮮人側ノ言分

在中華民國日本公使館

S 1.1.1.0 - 17

1391

0025

(一) 水路用地ニ關スル責任ハ鮮人ニ在ラス支那人「ブローカー」之ヲ負フヘシ

(二) 支那當局ハ水路工事ニ付當初何等干涉ヲナササリシニ工事五哩モ進捗シタルトキ始メテ支那農民ヲ使喚シテ妨害ヲ試ミタリ

(三) 鮮人ハ堰ノ附近ニ渡舟ヲ設ケ且水路交通ノ妨害トナラサル様辦法ヲ講スヘキコトヲ約セリ

(四) 堰ヲ設クル土地ハ可成ノ高所ナルカ故ニ附近土地氾濫ノ惧ナク且水田ヨリノ水ノ排水ニ付キテハ充分注意スヘキカ故ニ是亦附近土地ノ浸水ヲ來スカ如キ惧ナシ尙水路附近ノ從來無價值ナリシ土地モ大豆作ニ適スルコトナリ是ニ依リ二萬圓ノ年收ヲ得ラルヘシ

五月二十五日鮮人ノ水路工事中支那警官三名ハ鮮人頭株一名ヲ逮捕シ之ニ暴行ヲ加ヘ其五日後ニハ二百名ノ警官及騎兵現ハレテ工事ノ中止ヲ強要シ鮮人之ニ服セサリシヲ以テ十名ヲ捕ヘテ之ヲ長春ニ送り現場ニハ五十名ノ警官及兵士ヲ留メシカ更ニ百五六十名ノ増員ヲナシタリ鮮人ハ播種時期ナルモ之ヲ爲シ得サルニ依リ在長春日本領

在中華民國日本公使館

S 1.1.1.0 - 17

1392

0026

事ハ之ニ抗議シ妨害ハ一時中止セラレタルモ猶支那警官ハ現場ニ留マレリ其後日支官憲ノ共同調査トナリ堰ノ現地調査ニ依リ附近土地ノ浸水云々ハ地勢上根據ナキコト判明シ支那側ニ於テモ興味ヲ失ヒタルニヤ雙方共此上ノ調査ヲ打切りタリ他面鮮人ハ播種期ヲ失シ本年ノ收穫得ラレストスルモ日支何レヨリモ損害賠償出サルヘシトシ遂ニ工事繼續ニ着手セル處七月一日ニ至リ五百名ノ支那農民（内二十五名ハ警官ナリト稱セラル）水田ヲ侵シタルニ依リ兼ネテ此事アルヲ豫期シ居タル在長春日本領事ハ十五名ノ日本警官ヲ派遣シ支那群衆ニ對シ其引上方ヲ交渉セシメタルカ群衆中約三十名ハ銃器ヲ有シ他ハ其他ノ武器ヲ持シタリ彼等ハ水路約百三十米ヲ埋没シタル上其中數名ハ附近民家ヨリ發砲セリ鮮人ハ日本警官ノ命ニ依リ何等抵抗スルコトナク且日本警官モ唯威嚇ノ目的ヲ以テ之ニ應射シタルニ過キサリシヲ以テ雙方死傷者ヲ生スルニ至ラス支那側モ發射ヲ中止シ目下雙方對峙中ニテ水路工事ハ全然中止セラレタリ

在中華民國日本公使館

S 1.1.1.0 - 17 1393 0027

地方的解決スルノ緊要ナルヲ認ムルニ至レルカ如ク南京政府モ本件解決方ヲ地方官憲ニ委ヌルコトトセルハ當ヲ得タルモノナリ日本ハ萬寶山問題ニ付キテハ終始地方的解決ニ努力シ來リ紛争發生當時日本側ノ提案ヲ容認シタラムニハ大事ヲ見スシテ落着シタルヘシ本問題ヲ通シ其裏面ニハ官邊ニ於ケル鮮人移住問題ニ關スル日本ノ政策ニ對スル猜疑在ルモ斯ル單ナル猜疑ヲ基礎トシテハ何等ノ交渉モ爲シ得サルヘシ鮮人移住ニ對スル反感ハ日本ニ對シ非常ナル猜疑ト反感ヲ有スル激越ナル愛國者ノ多クカ日頃有スル所ニシテ吉林省主席ハ間島ニ於テハ五十萬以上ノ鮮人安住シ居レルコトヲ指摘シ何ヲ以テカ支那人ハ萬寶山ニ於ケル極ク少數ノ鮮人ニ付云爲スヘキヤト稱シ居ルモ滿洲ヲ蔽ヘル猜疑の空氣ハ一度地方的紛争起ルヤ直ニ如實ニ現ハルヘシ要スルニ支那地方官憲ヲシテ普通ノ紛争ハ出來得ル限リ速ニ解決スルノ必要ヲ忘レサラシムルヲ要シ本事件ノ如キハ其ノ好個ノ例ナリ

在中華民國日本公使館

S 1.1.1.0 - 17 1394 0028

農民ノ反鮮的感情ヨリ起リタルモノニモ非ラス元々唯一人ノ地主ノ貧慾ニ端ヲ發シ遂ニ朝鮮ニ於ケル支那人ノ慘劇ヲ招來シタルモノナルカ水路工事ノ許可ノ有無ノ論ハアルト假定シテモ兎モ角責任ハ支那人貸地人ニ在リ尙本件契約ノ商議方ヲ許シテ置キナカラ後ニ至リテ契約ヲ有效ナラシムル爲ノ手續等ヲ執ルコトヲ拒絶スルカ如キハ詐欺的行爲ナリ張作相カ日本側ニ對スル唯一ノ不滿ハ日本側ニ於テ雙方武裝警官ヲ撤退スヘシトノ了解アリタルニ不拘武裝警官ニ代フルニ平服警官ヲ以テシタルノ無誠意ニ在ル處右日本側ノ態度ハ紛争ヲ激化セシメタルコト疑ナク此點ハ日本當局ノ責任ナルカ他方支那警察ハ本件ニ第一ニ干渉シ日本警察ヲシテ同様行動ニ出サルヲ得サルニ至ラシメタリ

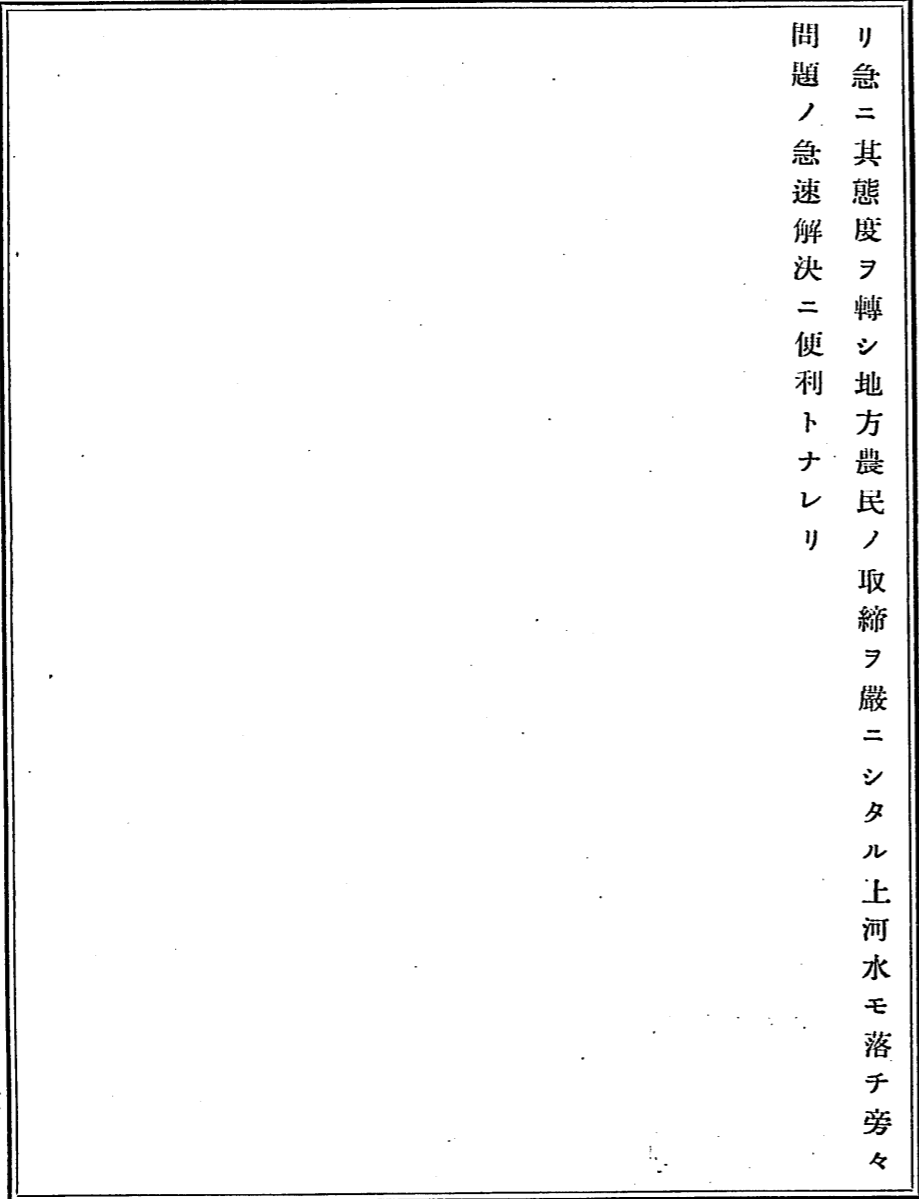
在中華民國日本公使館

S 1.1.1.0 - 17

1395

0029

リ急ニ其態度ヲ轉シ地方農民ノ取締ヲ嚴ニシタル上河水モ落チ旁々問題ノ急速解決ニ便利トナレリ



在中華民國日本公使館

S 1.1.1.0 - 17

1396

0030

亞細亞局

藤本

分類 1.1.1.0.20-3

情報部

機密公第一、〇七二號

第一課長

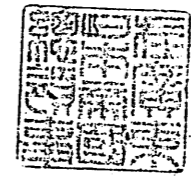
昭和六年七月廿八日

在 廣 東 總領事代理 須 磨 彌 吉

外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

當地漢字紙公評報主筆ノ來館ニ關スル件

本年三月頃ヨリ當地ニ於テ永年最大發行部數ヲ有スル漢字紙公評報
外交掛リ記者本官ヲ來訪シ從來日本ニ關スル記事兎角正確ヲ缺キ居
ルヲ以テ^{今後}記事ノ正確ヲ期スル爲貴官ノ御意見等ヲ承リ旁々毎日來訪
致シ度キ旨申出タルニ付同紙ハ大新聞ナルニモ鑑ミ當地新聞紙啓發



昭和六年八月拾貳日接受

在廣東日本總領事館

S 1.1.1.0 - 17

1397

0031

上極メテ有效ト思考シタルヲ以テ能フ限り盡力スヘント申聞ケ置キ

タル處其ノ後同記者ハ毎日日本官ヲ來訪シ日本ヨリノ通信ヲ確メ又當

地ノ情報ヲ齎ス等相當接觸シ來リ過般滿蒙問題ニ關スル我方ニ不

利ナル記事ヲ掲載ヲ差扣ヘタル次第ニ付テハ既報ノ通りナルカ爾來

公評報ノ記事ハ日本ニ關スル限り正解トナリ單ナル反日空傳記事ヲ

避ケ事實ヲ事實トシテ報道シ隨時情報部作成ノ寫眞等ヲ交付セハ必

ス之ヲ掲載スル等效果相當見ルヘキモノ有リタリ

右公評報社長鐘超群ハ同紙ノ外ニ大新聞タル羽公報ヲモ間接ニ所有

シ又胡漢民ノ機關紙タル國民新聞ニモ投資シ居ルノミナラス河南、

博愛兩埠ノ三通信社ヲ有シ近ク大衆通信社ヲ創設セントシ居リ別ニ

二新聞社ヲモ興ス計畫ヲ有シ當地新聞及通信界ノ重鎮ニシテ記者聯

在廣東日本總領事館

S 1.1.1.0 - 17

1398

0032

合會常務理事トシテ新聞社聯合會ノ牛耳ヲ把リ陳濟棠トハ相當深キ
關係ヲ有シ嘗テ黃紹雄ノ下ニ廣西ニ於テ要職ニ有リタル關係上今次
國民政府成立スルヤ省政府參議兼第一集團軍參事ニ就任シ當地ニ於
ケル有力ナル人物ナリ

廿五日同人ハ本官ヲ來訪シ汪、孫等當地政府有力者ハ極秘裡ニ新聞
記者聯合會ヲ通シ各新聞社ニ對シ今次ノ萬寶山事件及朝鮮事件ニ關
シ激越ナル通信ヲ掲載スルコトヲ嚴禁シタルヲ以テ自分ノ關係スル
新聞ニハ一切此種記事ヲ掲載セシメス手加減ヲ加フルコトニ致居ル
旨語リタルニ付本官ヨリハ同人ノ好意ヲ多トスル旨ヲ述ヘ今後共黨
方ニ對シ希望ニテモ有ラハ能フ限り盡力スヘク又當地ヨリノ希望有
ル場合ハ申出ツルコトモ有ルヘント答ヘ置キタリ

在廣東日本總領事館

S. 1.1.1.0 - 17 1399 0033

同人カ當地新聞及通信界ニ多大ノ勢力ヲ有スル點ニ徴シ今後引續キ
同人ヲ誘導シ當方面ノ啓發ニ意ヲ用フル所存ナルカ右ハ當國民政府
要人連ノ我方ニ對スル態度ヲ窺知スル一資料トモ存シ右御含迄ニ報
告申進ス

本信寫送附先

代理公使、北平參事官、上海、南京

在廣東日本總領事館

S 1.1.1.0 - 17 1400 0034

新聞局
關機高第六九七〇號

昭和六年八月 參日接受

昭和六年七月二十八日

關東廳 警務局長

拓務省 官
外務省 官
內務省 官
警務局長
警務局長
警務局長
警務局長
警務局長
警務局長

萬朝報社ノ鮮支事情調査隊ニ關スル件

萬朝報社々長長谷川善治及江連力一郎、河西靜夫、跡部歸巳男等ヲ以テ組織セル鮮支事情調査隊ノ一行ハ本月二十二日午前六時三十分奉天着安奉線列車ニテ着奉直ニ午前七時十五分發大連行列車ニ乗換

記事

12/8

0035

1401

S 1.1.1.0 - 17

ハ昨日午後八時大連ニ到着市内大隈嘉大和ホテルニ投宿セルカ翌二十三日ハ長谷川、江連同道ニテ滿鐵本社ニ正副總裁ヲ訪問シタル外各方面ノ知名士ヲ歴訪シ意見ノ交換ヲ爲シタル模様ナルカ同一行ハ二十四日午後九時三十分大連發列車ニテ奉天ニ向ヘリ而シテ長谷川及江連兩名カ本調査計畫ニ關シ洩セル處左ノ如シ

記

長谷川ノ談(安東驛ニ於テ)

現在我日本ハ内外共ニ非常ナ危機ニ直面シ居レリ即チ内ニアリテハ國民思想ノ變動甚タシク亦化其他ノ危險思想ハ猛烈ナル勢ヲ以テ國民ニ喰ヒ入リツツアリテ國民ノ國家觀念ハ日ト共ニ薄ラキ私利ノミニ趨ルカ如キ傾向日ヲ逐フテ濃厚トナレリ如斯キ状態ヲ繼續スルニ於テハ全ク憂慮スヘキ結果ヲ招來スル狀

0036

1402

S 1.1.1.0 - 17

慮ニアリ

外ニアリテハ我政府ノ外交軟弱ナル爲メ屈辱的不祥事件ハ枚擧ニ
過ナク國威ヲ失墜シツツアルコト甚タシキヲ以テ此際右ノ實情調
査ヲ遂ケ速刻歸京ノ上國民大會ヲ東京ニ開催シ輿論ノ喚起ニ努ム
ルト共ニ積極外交ヲ一特ニ中國ト露國ニ對シ一政府ニ進言スル所
存ナリ

我々ノ本計畫ハ朝鮮各地及間島ニ於テ全民衆ヨリ贊同ヲ得テ非常
ナル歡待ヲ受ケタリ今後ハ奉天ヲ經テ長春、吉林、ハルビンヲ視
察シ大連ニ引返シテ海路歸國ノ豫定ナリ云々

ニ江連ノ談（大連ニ於テ）

國幣ト幾万ノ生蠶ヲ犧牲ニ供シ東洋平和ノ爲メ獲得シタル滿洲ニ
對シ白人ノ魔ノ手ハ常ニ支那ノ背後ニ介在シ支那要路ヲ使賊シツ

3

S 1.1.1.0-17

1403

0037

ツラリ尙支那自体ノ最近ニ於ケル排日思想ハ其極ニ達シ治外法權

撤廢ノ聲明政權侵害及經濟封鎖其他幾多ノ不法事件ヲ惹起シ日本

民族ノ生活ヲ破壊シ日本經濟ノ危機ヲ招來二十有餘年平和ヲ持續

シ來リタル滿洲モ危機ニ達シ今ヤ滿洲在任民ノ該問題ニ關スル

輿論沸騰シ地方並ニ中央要路ニ於テモ時局ヲ重大視シ居ルノ狀態

ナルモ之ニ對スル斷乎タル方策ノ樹立ヲ見サルハ政黨政派ノ關係

上之カ支配ノ弊害ヲ痛切ニ感スルモノニシテ徹底的の方策ヲ樹立セ

ント欲セハ國民ノ輿論ヲ喚起統一シ要路者ノ奮起ヲ促シ對支外交

ノ積極ヲ期スルノ外道ナク遺般支那事情特種研究會ヲ組織シ親シ

ク滿蒙問題ノ實情ヲ調査スヘク朝鮮經由來連シタル次第ナルカ各

地ニ於テハ要路並知名士ニ接觸意見ノ交換ヲ爲スト共ニ各方面ヨ

リ資料ヲ蒐集シツツアリ今後ノ行動ハ二十四日夜大連ヲ出發奉天

4

S 1.1.1.0-17

1404

0038

拓内務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍司令部 滿洲鐵道局
 拓内務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍司令部 滿洲鐵道局
 拓内務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍司令部 滿洲鐵道局
 拓内務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍司令部 滿洲鐵道局
 拓内務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍司令部 滿洲鐵道局
 拓内務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍司令部 滿洲鐵道局
 拓内務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍司令部 滿洲鐵道局
 拓内務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍司令部 滿洲鐵道局
 拓内務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍司令部 滿洲鐵道局
 拓内務省 内務省 朝鮮總督府 關東軍司令部 滿洲鐵道局



關東軍司令部
 第三三六八號ノ二

昭和六年七月三十日

關東軍司令部 長

第二

昭和六年八月 五日接受

S 1.1.1.0 - 17 1406

0040

ニ赴キ北方ノ實情調査ノ上朝鮮ヨリ飛行機ニテ本月末カ來月初
 頃歸國ノ上調査資料ヲパンフレットニ印刷各要路ニ配布スルト共
 ニ對支政策ノ根本的樹立ニ供セントスルニ在リ云々
 以上

S 1.1.1.0 - 17 1405

0039

吉林ニ於ケル不逞鮮人ノ近況

一 韓族總聯合會權秀貞一派ノ吉林進出

韓族總聯合會ハ元北滿寧安縣ニ於テ所詣畿湖派（京畿道以南ヲ指ス）ヲ糾纏シ金佐鎮鄭信等ヲ首領トシテ組織セラレタル民族團體ニシテ朝鮮ノ獨立ヲ標榜シテ北滿方面ニ活躍シ居タルカ金鄭兩首領カ共產黨系反對派ヨリ暗殺セララルニ及ヒ同會ハ支離滅裂ノ状態ニ陥リ一味權秀貞南大觀等ハ教化方面ニ流浪シ類勢挽回ニ奔走中偶々昭和四年八月吉敦沿線ニ於ケル共產黨暴動事件勃發スルニ至リ權秀貞一派ハ共匪討伐隊長吉林省軍法處王科長ニ接近シ共匪討伐ニ助力シタル結果漸ク支那側ノ信任ヲ受ケ權ハ王科長ノ秘書役トナリ遂ニ吉林ニ進出シタルモノニシテ最近ニ於テハ武裝軍人十數名ヲ有シ常ニ共匪討伐ニ名ヲ藉リ吉林一帯ニ横行シ甚シキハ

私怨關係ヨリ善良ナル鮮人ヲモ支那官憲ニ讒誣逮捕セシムル等ノ行爲アリ一數鮮人ハ勿論國民府ノ如キモ權一派ノ背後ニ王科長ノ勢力介在スル爲メ其積暴ニ對シ拱手傍觀スルノ已ム無キ狀況ニ在リト謂フ

二 鮮匪國民府ノ狀況

國民府ハ同府革命軍ノ橫暴ヨリ變ニ吉林地方在住鮮人ノ猛烈ナル排斥ト共產黨ノ彈壓ヲ受ケ興京方面ニ一時逃避シタルカ其後吉林地盤ノ恢復ヲ企圖シ客月同府革命軍總司令長玄益哲ハ奉天支那側外交協會ノ紹介狀ヲ入手シ豫テ面識チル吉林省黨部組織部長ノ幹施ニテ吉林省政府要路者ヲ歴訪シテ其瞭解ヲ求メ一方部下軍人二十餘名ヲ吉林ニ引入レ同地ヲ中心ニ附近農村各地ニ於テ地方組織ヲ急キツツアリト尙彼等ハ權秀貞一派ト共ニ支那官憲ヨリ共匪討



伐ノ證票トシテ「清共」ト刻シタル徽章ヲ僱用シ漸次其ノ運動表面化シツツアリ

ニ 萬寶山事件以後ノ彼等不逞團ノ策動

萬寶山事件ニ端ヲ發シ鮮内鮮支人衝突事件勃發スルヤ彼等在吉不逞團ハ支那官民ノ報復的彈壓ヲ怖レ只管支那側ニ阿諛シ萬寶山問題對究會ヲ組織シ更ニ朝鮮日報長春支局長金利三ヲ吉林ニ誘致暗殺シテ官憲ノ歡心ヲ買ハムトシ最近ニ於テハ左ノ如キ建議案ヲ吉林省政府ニ提出シテ支那側ノ走狗振リヲ發揮シ日本側ニ居住屆ヲ提出シタルモノハ悉ク日本ノ走狗ナリトシ迫害ヲ加ヘムトスル狀況ニ在リ尙國民府對權秀貞一派ハ目下表面親善ヲ裝ヒ居ルモ裏面ニ於テハ水炭相容レス權一派ハ支那官憲ヲ利用シテ國民府軍人ノ武裝解除ヲ暗ニ計畫シ居レリトノ噂アリ

4

左記

一 吉林省内各縣ニ韓僑稽查課ヲ新設シ専ラ縣内在留韓僑ノ動態ヲ調査セシムルコト

一 韓民調査ノ上不良者（共產主義者等）ヲ發見シタル際ハ彼等ノ居住ヲ制限シ以テ帝國主義ノ走狗及赤化ヲ防止スルコト

一 各縣内ニ韓僑農民團體ヲ組織ヤシメ無智ナル韓僑ヲ善道シ短期日内ニ歸化手續ヲ取ラシムルコト

以上

5

0043

1409

S 1.1.1.0 - 17

0044

1410

S 1.1.1.0 - 17